

3. 安倍川駅周辺地区の概況

静岡市は静岡県のほぼ中央に位置し、駿河湾と南アルプスに連なる山々に挟まれた豊かな自然環境を有するとともに、県都として政治、経済、情報、文化など様々な中枢管理機能が集積しています。

また、平成15年4月には旧静岡市と旧清水市が合併し平成17年4月に政令指定都市へ移行するとともに、平成18年3月に旧蒲原町と、平成20年11月には旧由比町と合併するなど大きな変革時期にあります。

本計画地である安倍川駅周辺地区は、JR安倍川駅東側に位置するみずほ地区を中心とした土地区画整理事業の施行により、戸建て住宅を中心とした住宅市街地を形成するとともに、JR安倍川駅西側の丸子・宇津ノ谷地区は旧東海道の宿場町であったことから丸子宿や駿府匠宿などの観光名所が点在し、平成20年度には約49万人（市全体比2.1%）の交流客が訪れています。

近年では、地区を南北に通る東海道新幹線・東海道本線を横断する（都）丸子池田線が整備され、東西地区のアクセス性が向上するとともに、駿河区役所長田支所、静岡徳洲会病院が開業するなど、駿河区の副次的な行政サービス拠点、交通結節点として期待されています。

